



観光庁
Japan Tourism Agency

withコロナ・afterコロナ期の 地域コンテンツのあり方

「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業
全国シンポジウム（成果報告会）

令和3年6月7日(月)15:00-18:30 (14:50開場)

観光庁では、withコロナ・afterコロナ期における新たな観光のあり方等を抽出し、国内各地域が効果的・効率的に誘客に取り組み環境を整備する、「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業を実施しました。この度は、事業内で得られた成果をとりまとめたナレッジの紹介を目的とした全国シンポジウム（成果報告会）を開催いたします。今後の観光業界を発展させていくため、各分野における専門家と、本事業において注目された取り組みを実施した地域団体／組織にもご登壇いただき、具体的な事例も共有いただきます。今後の取り組み／事業展開に役立つ情報が多いかと思っておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

開催形式

Zoom(ウェビナー形式) ※途中入退出可能

お申込み方法

右記のQRコード、もしくは下記のURLにアクセスください。※エントリーいただいた方に参加URLをお送りします。



お申込み期限

令和3年6月4日(金) 17:00

参加費
無料

定員
1000名

タイムテーブル

14:50 15:00	開場 開会挨拶(観光庁観光地域振興部観光地域振興課 課長 富樫 篤英氏)
15:10	第1セッション withコロナ期における感染症対策
15:55	<p>専門家: 観光レジリエンス研究所 高松 正人氏</p> <p>事例: ○ 銀山温泉組合 『銀山温泉エリアにおける「新たな大正ロマン」観光創出事業』 ○ 釜石ラグビーツーリズム推進協議会 『ラグビーのまちを生かしたスポーツ観光の推進事業』</p> <p>モデレート: 株式会社地域ブランディング研究所 吉田博詞</p> <p>休憩: 10分</p>
16:05	第2セッション これからの魅力的なコンテンツ造成
16:50	<p>専門家: NPO法人エコツーリズムセンター 森 高一氏</p> <p>事例: ○ 一般社団法人越前町観光連盟 『漁師町「越前町」のお魚プロジェクト!』 ○ 鳥根県津和野町 『Re・ディスカバリー津和野～サイクリング×人×地域でつくる、津和野再発見の旅～』</p> <p>モデレート: 株式会社地域ブランディング研究所 吉田博詞</p> <p>休憩: 10分</p>
17:00	第3セッション 持続的な観光地経営・ファンづくり
17:45	<p>専門家: JTIC. SWISS 山田 桂一郎氏</p> <p>事例: ○ 株式会社DMC天童温泉 『山形盆地が育んだ1000年のものづくり人・技・逸品に出会う新しい旅』コンテンツ造成 ○ 一般社団法人八ヶ岳ツーリズムマネジメント 『withコロナ期の「八ヶ岳モデル」～「新しい旅・生活様式」を取り入れた地域周遊滞在型ガイドプログラム～』</p> <p>モデレート: 株式会社地域ブランディング研究所 吉田博詞</p> <p>休憩: 10分</p>
17:55	クロージングセッション with/afterコロナ期の『あたらしいツーリズム』展望
18:25	<p>専門家: 高松 正人氏、森 高一氏、山田 桂一郎氏</p> <p>モデレート: 株式会社地域ブランディング研究所 吉田博詞</p> <p>休憩: 10分</p>
18:30	閉会

観光コンテンツを実施可能にするために講じてきた、事前準備やルール設定、関係者との連携等の感染症対策のポイントを、本事業の感染症対策の監修を務めた高松氏とともにお伝えいたします。

with/afterコロナ期において変化している旅行スタイルの中でも、魅力的なコンテンツの造成方法やあり方を、本事業の取組事例をもとに、「サステナブル・ツーリズム」の分野でご活躍されている森氏を交えてお伝えいたします。

今後各地域が自走していくために必要な持続的な仕組み・仕掛けを、採択事業者様の事例をもとに、観光カリスマである山田氏の観点をお伝えいたします。

本事業の成果をそれぞれの観点で振り返っていただき、そこから見えてきた今後の展望と、観光産業の発展のためのコンテンツのあり方や、地域のあり方をお伝えいたします。

専門家



観光レジリエンス研究所
代表
高松 正人氏

観光危機管理の専門家。観光庁及びGo Toトラベル事務局の感染症予防対策アドバイザー。「新しい旅のエチケット」を考案。観光関連業界団体の感染症対策ガイドライン策定などにも携わる。



NPO法人エコツーリズムセンター
共同代表理事
森 高一氏

環境教育施設の企画・運営、企業や行政の環境コミュニケーションの場をつくる環境プランナー。環境教育拠点施設の計画・運営、国等の環境プロジェクトを担当。日本エコツーリズムセンターで、国際的なサステナブル・ツーリズムの認証制度の国内展開を図っている。



JTIC. SWISS
代表
山田 桂一郎氏

内閣府・国交省(観光庁)・農水省から観光カリスマとして認定される。世界各地におけるマーケティングとブランディングの経験を活かし、日本各地で地域振興に関する様々な事業を推進している。内閣官房地域活性化伝達部、総務省地域力創造アドバイザー、内閣官房クールジャパン地域プロデューサー、和歌山大学客員教授、北海道大学客員教授、奈良県立大学客員教授等。

全体モデレーター



(株)地域ブランディング研究所
代表
吉田 博詞氏

国内外各地を飛び回りながらマーケットイン発想での造成・体制整備・販路拡大サポートを行う。(一社)日本インバウンド連合会 幹事長や観光庁インバウンド専門家等を務める。【執筆】観光経済新聞コラム「観光羅針盤」連載、「リクルートOBのすごいまちづくり」I・II等多数。

誘客多角化実証調査事務局 全国シンポジウム運営チーム
担当: 吉田 頼将 (よしだ よしまさ)、高橋 麻衣子 (たかはし まいこ)、石川 直樹 (いしかわ なおき)

TEL: 03-5246-4248 (受付: 平日9:00-18:00) MAIL: chiiki_solution@chibra.co.jp

※本実証調査事務局は観光庁より委託を受け、株式会社日本旅行が運営しております。

全国シンポジウム運営については株式会社日本旅行より株式会社地域ブランディング研究所へ窓口業務を委託しております。

問い合わせ先